

11月13日 春日井市立高森台中学校第2回校内研究会

春日井市立高森台中学校では「かすがいスタンダード」を基礎にして、学習規律の徹底とICTの効果的活用を意識した授業作りを市内で行ってきた。その取り組みを生かしながら、わかりやすい授業づくりのための工夫として「学習目標の設定と学習のまとめ」や「集中させる・しっかり教える・つなげて考えさせる場面の設定や活動」を考えて授業実践を行っている。今回一人一台タブレット端末を利用した授業を参観した。

- 生徒は一人一台タブレット端末（Chromebook）を利用して授業を行っている。
- Classroom を利用し、教師や生徒が日常的にオンライン上でコミュニケーションを取っている。
- 共同編集が可能なスプレッドシート（表計算アプリ）などを利用し、互いの意見をリアルタイムで共有しながら、効率的に授業に取り組んでいる。

1年理科



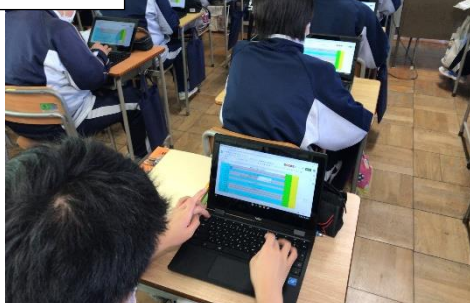
考察したことをスプレッドシートに書き込んでいる。

2年社会



積極的に意見交換しながら各自が配付された課題を主体的に取り組んでいる。

3年社会



リアルタイムで友達が書き込んでいる様子を共有している。

教材提示装置を利用している様子



各教室に実物投影機、超短焦点プロジェクターとスクリーンを設置し、日常的に利用している。